第　２　学年　　社会　科

学習教材および学習の進め方

<table>
<tr><td>使用教材</td><td>＜地理的分野＞
教科書：中学生の地理　帝国書院 ／ 中学校社会科地図
ワーク：社会の自主学習～地理日本～

＜歴史的分野＞
教科書：新しい社会～歴史～　東京書籍
資料集：学び考える歴史
ワーク：社会の自主学習～歴史２・３～</td><td>持ち物</td><td>教科書
ノート（A４ノート）
ファイル
地図帳（地理のみ）
資料集（歴史のみ）

※その他に必要な場合はその都度連絡をします。</td></tr>
<tr><td>学習の進め方</td><td colspan="3">＜確かな学力を身につけるには＞
・まずは授業に集中しよう。自ら学ぶ姿勢を大切にしよう。
・プリントやワークなどの課題に一生懸命に取り組み、理解を深め、知識の習得をめざそう。
＜家庭学習では＞
・授業の予習として、教科書を読んでおこう
・授業の復習として、プリントやワークなどの課題に取り組もう。
＜定期テストでは＞
・教科書やノートを見直そう。また重要語句をしっかりと覚えよう。
・ ワークなどの問題演習にしっかりと取り組もう。
・教科書や参考書にあるさまざまな資料に目を通して、正確に読み取れるようにしよう。
＜学び合いについて＞
「学び合い」＝「話し合い」ではありません。まずは自分の意見や疑問を持つこと、自分の考えを表現することを大切にしてください。その上で他の人の意見や考えを聞くことで、きっと学習は深まります。“わからなさ”や“深まった”を共有できる学習集団を目指そう。</td></tr>
<tr><td>学習上の注意</td><td colspan="3">・毎回の授業の振り返りを大切にし、分かったこと、分からなかったことを確認しよう。
・ものごと（社会的事象）の特色や相互関連について追及する見方・考え方を身につけよう。
・そのためには「なぜそうなのか」、「どんな工夫がされているか」、「どんなつながりがあるか」といった疑問を持ち、ものごとの裏側に見える理由・背景・関連性を考える習慣を持とう。
・自主学習に地道に取り組もう。
（例えば）・授業で学習した内容を自分なりにまとめる。　・問題演習に取り組む。
・疑問に感じたことや追及したい課題を調べてまとめる。　・重要語句を覚える。
こうした取り組みを継続することで社会に対する見方・考え方が広がります。</td></tr>
</table>

学習内容および評価規準

	月	単元計画	考査
一学期	4 5 6 7	＜地理的分野＞ 〇第３部　日本のさまざまな地域 第１章　身近な地域の調査 第２章　日本の地域的特色 第３章　日本の諸地域 （九州地方～近畿地方）	中間 期末
二学期	9 10 11 12	第３章　日本の諸地域 （中部地方～北海道地方） ＜歴史的分野＞ 第４章　近世の日本	中間 期末
三学期	1 2 3	第４章　近世の日本のつづき 第５章　開国と近代日本の歩み	学年末

評価の観点	評価の方法（見取り）	
知識・技能	社会的事象に関する基本的な知識を身につけている。 諸資料から有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	授業の取り組み 定期テスト 課題プリント 課題レポート
思考・判断・表現	社会的事象について多面的・多角的に考察し、自身の考えを交えて的確に表現することができる。	授業の取り組み ファイル（ノート）の内容 定期テスト 課題プリント 課題レポート
主体的に学習に取り組む態度	国家および社会の担い手として、社会的事象について関心を持ち、よりよい社会の実現を視野に意欲的に学習に取り組むことができる。	授業の取り組み ファイル（ノート）の内容 ワーク その他課題 定期テスト